

青い波北陽台

1年 百人一首大会

1月12日(水)の午後に、百人一首大会が実施されました。全員参加のバラ取り戦と各クラスの代表者による源平戦を行いました。冬期休暇中に歌を覚え、バラ取り戦では約70枚もの取り札を獲得した生徒もいました。源平戦では、生徒の応援により、大きな盛り上がりを見せました。

総合順位

- 1位：1年4組
- 2位：1年2組
- 3位：1年3組

バラ取り戦個人成績(取り札2戦分)

- 1位：3組 井田 晴天(125枚)
- 2位：6組 菜切 七海(113枚)
- 2位：7組 吉永 龍汰(113枚)



「校則」のない学校

校長 山口千樹

全国的に「校則」を見直す気運が高まっています。本校に「校則」はありませんが、「生徒心得」がこれに相当します。校則ではなく生徒心得というネーミングに「生徒を縛るのではなく、信用して任せよう」という響きがあり、本校草創期の先生方の心意気を感じることができます。

生徒心得を見直すヒントを得たいと思い、友人が校長をしている秋田県、埼玉県、長野県、静岡県にある高校に電話をし、それぞれの学校の校則の内容を聞いてみました。すると、本校の生徒心得の内容は比較的緩やかであることがわかりました。(中には、頭髪検査を毎月行い、違反者には違反切符を出し、3枚たまと反省文を書かせるというところもありました。)

次に、法令の専門家の意見を聴こうと本校OBの弁護士さんに、生徒心得をチェックしていただきました。観点は、生徒の人権を侵害していないか、法令に照らしておかしなところはないか、という2点です。その結果、本校の生徒心得には、特に問題はないということでした。ただ、生徒や保護者の意見を聴いて、時代にあったものに見直すべきであるとのアドバイスをいただきました。

そこで、生徒支援部の先生方をお願いして、弁護士さんの意見をもとに生徒心得の再検討を行っていただきました。昨年末に原案ができ、職員会議で全先生方に読んでいただき意見を集めています。今後、生徒会執行部やPTA役員の皆様にも原案を読んでいただき、意見を聴きたいと思っています。

原案の詳細は紹介しませんが、改訂にあたって、生徒の実態や現状に応じたものになるように心がけました。例えば、昨年11月の生徒総会で生徒から出された服装に関する意見は、すべて反映しています。また、昨年5月の生徒総会で出された「携帯電話の校内持ち込みの許可制」も取り入れる予定です。

ところで、なぜ校則の見直しが進まないのか、前出の校長と話しあいました。そこで出たのは、かつて全国的に生徒が暴力的になった時期に厳しくした校則を緩くすると、再び生徒が暴力的になるのではないかと、不安があるのではないかとという意見です。つまり、背景には生徒と先生の不信感があるのですね。校則は、生徒と先生の中の「信頼の溝」の象徴のように思えます。

そこで、皆さんに訴えたいのは、先生方に信頼される学校生活を積極的に送ってほしいということです。先生方がもっともっと生徒を信頼できるようになれば、決まりごとは校内から消えていきます。もともと校則がない本校ですから、生徒心得さえない学校を目指していきましょう。

ラグビー部

12月27日(月)から開催された第101回全国高校ラグビー大会に出場しました。シード校として大会に臨み、ベスト8と輝かしい成績を収めました。

2回戦	vs 日川高校(山梨)	55-3	で勝利
3回戦	vs 御所実高校(奈良)	36-15	で勝利
準々決勝	vs 国学院栃木高校(栃木)	7-17	で敗退

また、1月23日(日)に県新人戦の決勝戦に臨みました。新チームになって間もなく、練習期間も短い中で5年連続16度目の優勝を飾りました。



ラグビー部主将 本山泰士さんより

私達ラグビー部は12月26日から大阪府東大阪市で行われた全国高等学校ラグビーフットボール大会に出場しました。協賛金を始め、様々なご支援、ご協力、ご声援ありがとうございました。この1年間、私たちは全国制覇を目標に日々の練習に励んできました。結果はベスト8でしたが、ラグビーの聖地である花園の舞台で自分たちの力を発揮し、青い旋風を巻き起こすことができました。応援ありがとうございました。



2年 凧あげ大会

1月14日(金)の午後に凧あげ大会が実施されました。天候不良により13日(木)から延期されましたが、天候が回復し無事大会を実施できました。クラスごとに工夫を凝らしたデザインの凧を作成し、大会前は放課後遅くまで作業に取り組みました。大会当日、生徒の力強い走りで凧が揚がり、達成感を味わいました。

総合順位

- 1位：2年6組
- 2位：2年2組
- 3位：2年1組



天空の舞賞 2年6組

凧のデザインや飛んでいる形の美しさ等が優れたクラスに贈られる賞



2月の主な予定

- 1日(火) 午前：授業・設営 午後：放課
- 2日(水) 前期入学者選抜 生徒登校禁止(終日)
- 3日(木) 前期入学者選抜採点業務 生徒登校禁止(～13:30)
- 5日(土) 1年：土曜自学 2年：対外模試 3年：校内オープン模試
- 6日(日) 2年：対外模試
- 7日(月) 1・2年：試験時間割発表
- 9日(水) 15:30 完全下校 前期入試合格発表(16:00～17:00)
- 12日(土) 3年：校内オープン模試
- 14日(月)～17日(木) 1・2年：学年末試験
- 19日(土) 1年：ハイレベル模試 2年土曜自学
- 25日(金) 1年：県内企業説明会 3年：国公立大学前期試験
- 26日(土) 1・2年：土曜自学
- 28日(月) 大掃除・式場設営・卒業式予行・記念品贈呈式・表彰式・同窓会入会式



各学年より

「次年度への準備」

1学年主任 林 圭介

先日行われた「百人一首大会」が、1年生全体で実施される学年行事の最後のものとなりました。残りの学校行事としては、3月末に予定されている「校内競技大会」のみということになります。いよいよ、1年生での生活も終盤を迎え、2年生となるための大切な時期となってきました。この1年間を振り返り、2年生への具体的な目標を設定して、よいスタートを切る準備をしなければなりません。2月の2日・3日には、高校の前期入試が実施されます。もうすぐ後輩が入学してくるという実感が高まることで、少し気持ちも引き締まるのではないのでしょうか。

さて、2月末には「総合的な探究の時間」の取り組みとして、「課題発見プログラム(県内企業説明会)」を実施する予定です。今まで、地域の課題についてさまざまな分野から考えてもらいましたが、さらに、多くの企業や官庁関係の機関の方から直接お話をお聞きすることで、それぞれの知識や関心を深めてもらいたいと思います。長崎県内にとどまらず、視野を大きく広げて、将来、自分がどのように社会に貢献していくかを考える機会としてもらいたいと思います。

「凧あげ大会を終えて」

2学年主任 下村かおり

今年度の凧揚げ大会も無事に終了しました。凧製作の準備は、小川ハタ店の店長様から凧づくりのコツをご伝授いただいた後、各クラスの実行委員を中心に始まりました。縦横合計が5.0m以上の大凧になるように形やデザインについて話し合い、竹を切ったり削ったり、下絵を描いたり色をつけたり、と一生懸命に取り組んでいました。保存してある昨年度の優勝「ハタ」が、竹の厚みや太さ、その組み方を知る大きなヒントになったようです。道具が不足し、思うように準備が進まずに焦る姿も見られました。3学期開始後は担任の先生方を巻き込んでの追い込み作業となりましたが、当日は全クラスが完成品を披露することができました。1クール目はなかなか上手いかず、破損してしまう場面もありましたが、2クール目はどのクラスも走り方やそのコース、糸のつけ方などに工夫が生まれ、より良い結果が得られていたと思います。「“成功”の反対は失敗ではなく、挑戦しないことである」という言葉が思い出されました。心が豊かになるような、そんな時間を過ごさせてもらいました。皆さん、お疲れさまでした。

「ラストスパート」

3学年主任 守 慶直

共通テストお疲れ様でした。面談も終わり、出願校が決定している頃かと思います。今年度の共通テストは昨年度から難化し、事前に設定した目標点には届かなかった場合もあるでしょうが、2月25・26日に実施される国公立大学前期試験まで残り25日。いよいよ受験のラストスパートです。判定が良いからといって気を緩めると足元をすくわれます。逆に判定が悪くなくても最後の粘りで逆転合格する人もたくさんいます。どちらの立場にあっても悔いの残らないように、良い結果が出るよう最後まで頑張ってください。

前期試験が終わると、すぐに卒業式です。受験前でそれどころではないでしょうが、今のクラス、学年で過ごすのもあと一か月です。一日一日を大切に過ごしてくださいね。